

第5次川島町総合振興計画及び川島町都市計画マスタープランの一部改訂について

川島町では、平成19年3月に川島町都市計画マスタープラン、平成23年3月に第5次川島町総合振興計画を策定し、川島インターチェンジを拠点とした郊外型大型商業施設の誘致、川島インター産業団地の建設、川島インターチェンジへのアクセス道路整備など総合的、計画的にまちづくりを推進しております。

また、国の事業である圏央道整備は、平成26年度に関越自動車道と東北自動車道を結ぶ区間の全線開通を目指し、工事が進められており、ますます圏央道インターチェンジ周辺地域は、利便性が高まり人や企業をひきつける軸となっていくものと考えられます。

こうした中で、町では川島インターチェンジ周辺地域の高いポテンシャルを生かした施策を展開するため、川島インターチェンジへのアクセス道路となる町道3052号線、八幡工業団地から、町道3506号線(圏央道側道)に接続する道路整備計画を推進しております。

しかし、計画道路沿線は市街化調整区域となっていることから、規制はあるものの計画道路の整備により、沿線地域の利便性が高まり、無秩序な開発が発生する恐れがあります。それを未然に防ぐため、総合振興計画、都市計画マスタープランの土地利用構想図に「物流・工業系地域」として位置付ける一部改訂を行い、周辺地域と調和した適切な土地利用を目指すものです。